

非常用発電設備等の整備により停電時の新小戸六ダム監視機能を維持 (青森県つがる市)

3か年緊急対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

効果概要: 非常時(電源喪失)において、ダム監視機能(観測・記録)を維持するため、新小戸六ダム(農業用ダム)の非常用発電設備等の整備を実施。令和4年8月の大雨の際、ダム周辺で、停電が複数回発生したが、非常用発電設備の運転により必要な電力を確保し、ダムの監視機能を維持することができた。

府省庁名: 農林水産省

■ 事業実施主体:

農林水産省東北農政局

■ 対策の概要及び事業費:

- 新小戸六ダムは、停電時の取水及び放流ゲート操作の非常用発電設備1台を備えていたが、管理用処理設備、観測設備及び屋内外照明設備に係る非常用発電設備は未整備であった。
- 電源喪失時において、ダムの監視機能を維持できるよう、非常用発電設備の増設及び管理用処理設備、観測設備等を整備。

■ 対象施設:

新小戸六ダムの管理設備



新小戸六ダム 全景



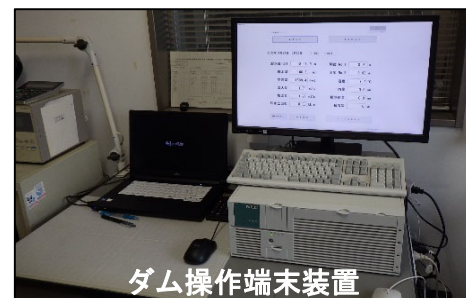
増設した非常用発電設備

事業名	事業費	対策期間
防災情報ネットワーク事業	5800万円	R3
うち3か年緊急対策	5800万円	R3

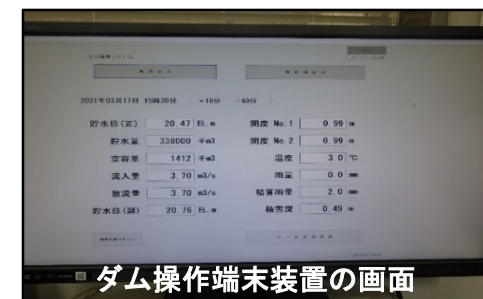
対策の効果

停電時に電力を確保し、ダム監視機能を維持

- 令和4年8月9日からの大雨において、ダム周辺の架線トラブルにより商用電力の供給が不安定となり、電力供給の停止が複数回(10日2回、11日6回)発生。
- 直ちに、非常用発電設備により電力が供給されたため、継続して適切に管理することができた。



ダム操作端末装置



ダム操作端末装置の画面